

# 府がくやく便り

NO.12 2008. 11. 1.

## 特集： インフルエンザにかからないために

日常生活ではまず、体調を整えて抵抗力をつけ、ウイルスに接触しない（人ごみを避け、マスクをする（飛まつ感染防御））ことが大切です。帰宅したら直ぐうがいと手洗いをしましょう。また、インフルエンザウイルスは湿度に非常に弱いので、室内は加湿器などを使って適度な湿度に保つことが予防として有効な方法です。また、流行の前2週間から1ヶ月には、予防注射を必ず受けましょう。

最近よく耳にする「新型のインフルエンザ」とは、過去数十年間に人が経験したことがないHAまたはNA亜型のウイルスがヒトの間で伝播して、インフルエンザの流行を起こすことを言います。また「インフルエンザ・パンデミック」とは、「新型インフルエンザウイルスがヒトの世界で広範かつ急速に、ヒトからヒトへと感染して広がり、世界的に大流行している状態」を言います。

リンク先：[国立感染症研究所 感染症情報センター](#)

インフルエンザ流行レベルマップ

（国内のインフルエンザ流行の情報のマップにリンクします。）

学校保健法では、インフルエンザ感染の児童生徒は、「解熱した後2日を経過するまでを出席停止期間。ただし、病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めるときは、この限りではない。」となっている。

インフルエンザウイルスは直径約80～120ナノメートル（1ナノメートルは1ミリメートルの100万分の1）で、ウイルス表面からHA（赤血球凝集素：人の細胞に侵入するときに使われる）およびNA（ノイラミニダーゼ：細胞内で増殖後その細胞から外に分離する時に使われる酵素）というタンパク質が突き出ているために、とげのあるイガグリのような形をしています。

京都府学校薬剤師会

そして、内部タンパク質の形によってA型、B型、C型に分けられ、A型はさらにHAとNAの形によって亜型に分けられます。A型ウイルスは渡り鳥などによって地球規模で運ばれており、どの型が流行かという予測は、地球規模の動向を解析して行われます。

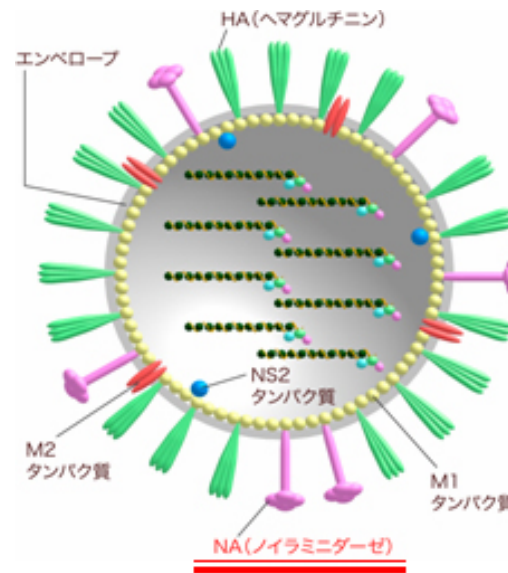
現在では、HAの亜型が15種類、NAの亜型が9種類知られており、それぞれ1～15、1～9というように番号をつけ、HAとNAの型の組み合わせによりその頭文字のHとNをとってH4N5型、H7N7型というようにウイルスの型を決定しています。（新型インフルエンザのルートは、カモ→アヒル→ブタ→ヒト発生すると考えられています。）もし、パンデミックが発生した場合は、災害時と同じように、個人レベルの生活については、物流

の低下による影響が懸念されるので、この影響と、外出による感染を避けるために、生活必需品の備蓄が求められます。飲み水、（できるだけ調理に水を必要としない）食料品、常備薬など、各家庭の事情に合わせた生活必需品を、2週間分を目安に備蓄するようと言われていま

す。タミフルが無効であるインフルエンザウイルスも出ているといわれています。今年

のインフルエンザの動向に注目し続けましょう。

文責 守谷まさ子



（図）インフルエンザウイルス

